

1. 館長挨拶

芝浦工業大学図書館

館長 田中 直彦

芝浦工業大学は、創立 100 周年にむけてアジア工科大のトップ 10 に入るといった Centennial SIT Action とした全学目標を掲げて、全学的に取り組んでいます。図書館も当該目標達成へ向けて、2023 年度は、以下の通り目標を立て、活動をして参りました。

- 実施目標 : 既存施設および他部署と連携した図書館環境の改善
計画概要 : 図書館以外の施設設備との連携を強化し、学生の利便性向上を目指す
達成最終目標 : ・豊洲本部棟の完成および豊洲図書館拡張スペースの新設に伴い豊洲図書館の動線を見直す
・キャリアサポート課との連携による就職活動支援、工学部ラーニングコモンズとの機能融合に向けた利便性向上を行う

まずは、学部ラーニングコモンズとの機能融合に向けた利便性向上を行うべく、豊洲図書館に研究棟側からの新たな通路設置の検討を開始しています。2024 年度中にこの通路の設置を完了させ、運用を開始することができるように現在設置計画を進めています。また、2022 年度に新たに増設した個人ブースや新設した飲食可能なリブカフェは、多くの学生に利用されています。

次に、2023 年度は、キャリアサポート課との部署連携を強化しました。具体的には、就職活動支援として、図書館内個室ブースを活用したオンライン面接会場及び有名企業 400 社に対応する資料・データベース情報を提供しました。また、企業情報データベース eol を活用し、「有価証券報告書」による企業研究の進め方に関する新たな取り組みを開始しました。

これに加えて、電子ブックや電子ジャーナル、データベースの活用も継続して進めています。特にデータベースの活用については、各ベンダーによる学生及び教職員に対する研修会を数回実施して、教育・研究力強化に繋がる取り組みを実施しています。

館内の利用者環境の整備として、情報イノベーション課との部署連携により、2023 年度は豊洲図書館内の無線 LAN アクセスポイントのリプレースが実施されました。2022 年度に実施された大宮図書館分と合わせ、2 館における無線 LAN の接続環境の改善が完了したことになります。

電子資料によって、図書館の外でも一部の図書館機能を利用できますが、図書館内ではそれに加えて多くの冊子も閲覧でき、利用目的に合わせたブースを選択できる環境を提供するため、改善を進めています。また、本学のオープンアクセス方針に則り、加速度的に本学における研究成果を国内外へ向けて発信すべく、次年度は図書館が中心となりオープンアクセスを加速させていく予定です。

より良い図書館運営を行うため、今後もご支援を賜りますようお願い申し上げます。